

報道関係各位

2013年5月21日  
株式会社カンター・ジャパン

## ブランド価値世界一は今年も「アップル」。 日本は「トヨタ」が復調、「ユニクロ」が躍進

～世界最大手の広告会社 WPP グループによるブランド価値ランキング～

市場調査会社の株式会社カンター・ジャパン(本社:東京都渋谷区、取締役社長:大竹秀彦)は、世界最大手の広告会社であるイギリスの WPP (ダブリューピーピー)の子会社です。本日、WPP グループは、今年で 8 回目になるブランド価値ランキング(『BrandZ™ TOP100 Ranking(ブランドジャー・トップ 100 ランキング)』)を発表します。ブランド価値の算出およびランキングを行ったのは、同じグループに属するミルウォード・ブラウン・オブティモア社です。

ブランド価値ランキング  
(BrandZ™ Top100 Ranking 2013)

順位	順位の変化 (対前年)	ブランド名	ブランド価値 (百万ドル)	価値の変化 (対前年)
1	0	Apple (アップル)	185,071	+1%
2	+1	Google (グーグル)	113,669	+5%
3	-1	IBM (アイビーエム)	112,536	-3%
4	0	McDonald's (マクドナルド)	90,256	-5%
5	+1	Coca-Cola (コカ・コーラ)	78,415	+6%
6	+2	AT&T (エイティアンドティ)	75,507	+10%
7	-2	Microsoft (マイクロソフト)	69,814	-9%
8	-1	Marlboro (マールボロ)	69,383	-6%
9	+6	Visa (ビザ)	56,060	+46%
10	0	China Mobile (中国移動通信)	55,368	+18%

出所:ミルウォード・ブラウン・オブティモア社

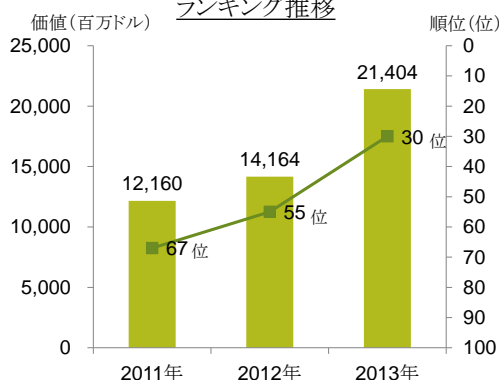
MillwardBrown  
Optimor

### ■ スマートフォン市場の成長とともに価値を高めるブランド

ランキングの中で注目されるのは、スマートフォン関連市場で存在感のあるブランドが前年よりも価値を高めている点です。

- ◇ Apple(アップル)が 1 位を維持(価値は前年より+1%)
- ◇ Google(グーグル)が前年の 3 位から 2 位に上昇(価値は前年より+5%)
- ◇ Samsung(サムスン)が 30 位に躍進(価値は前年より+51%)

Samsung(サムスン)のブランド価値と  
ランキング推移



ミルウォード・ブラウン・オブティモア社のデータをカンター・ジャパンが加工  
BrandZ™ Top100 Ranking

＜ニック・クーパー(ミルウォード・ブラウン・オブティモア社、マネージング・ディレクター)のコメント＞

- スマートフォン市場においてリーダーの座を争う中で、Samsung(サムスン)は、並外れたイノベーションの実行とマーケットシェアの伸長を両立し、ブランド価値を飛躍的に向上させました。昨年 Samsung(サムスン)が広告に費やした費用は16億ドル超に及びます。
- 市場の競争が激しくなり、他の競合がじりじりと追い上げてきているにもかかわらず、Apple(アップル)は、ブランド価値で世界一の座を維持しました。これが意味するところは、強いブランドを持つことが事業を繁栄させるということです。株価が下落していても、人々はやはりこのブランドが好きなのです。

■ 「トヨタ」が復調、「ユニクロ」が躍進

日本のブランドでは、海外市場で存在感を増しているブランドの価値の向上が目立ちました。

- ◇ Toyota(トヨタ)が前年より価値を高める
- ◇ NTT Docomo(NTTドコモ)が前年より価値を下げる
- ◇ Sony(ソニー)が前年の86位から100位圏外へ
- ◇ 100位圏外ではあるものの、Uniqlo(ユニクロ)が価値を高める

ブランド価値ランキング  
(BrandZ™ Top100 Ranking 2013)

順位	順位の変化 (対前年)	ブランド名	ブランド価値 (百万ドル)	価値の変化 (対前年)
23	+5	Toyota (トヨタ)	24,497	+12%
71	-6	Honda (ホンダ)	12,401	-2%
86	-5	Nissan (日産)	10,186	+3%
90	-43	NTT Docomo (NTTドコモ)	10,028	-37%
		圏外		
-	-	Sony (ソニー)	7,786	-9%
-	-	Uniqlo (ユニクロ)	4,627	+25%

出所:ミルウォード・ブラウン・オブティモア社



## News Release

また、自動車部門だけで見ると、Toyota (トヨタ) は、昨年 1 位の座を BMW (ビーエムダブリュー) に譲りましたが、今年のランキングでは 1 位に返り咲きました。

ブランド価値ランキング<自動車部門>  
(BrandZ™ Top100 Ranking 2013)

順位	順位の変化 (対前年)	ブランド名	ブランド価値 (百万ドル)	価値の変化 (対前年)
1	1	Toyota (トヨタ)	24,497	+12%
2	-1	BMW (ビーエムダブリュー)	24,015	-2%
3	0	Mercedes-Benz (メルセデス ベンツ)	17,952	+11%
4	0	Honda (ホンダ)	12,401	-2%
5	0	Nissan (日産)	10,186	+3%

出所:ミルウォード・ブラウン・オプティモア社

MillwardBrown  
Optimor

<ピーター・ウォルシュ(ミルウォード・ブラウン・グループ、グローバル・ブランジー・ディレクター)のコメント>

- トヨタは、ブランドの本質的な強さを発揮して、信頼性を回復し、危機を乗り越えました。自動車ブランドは、中国のような急成長する市場で新車販売(台数)を伸ばし続けています。同様に、アメリカでも消費者がショールームに戻り始めており、2012年には13.4%新車販売(台数)が成長しました。トヨタもこの上昇気流に乗り、アメリカで26%新車販売(台数)を伸ばしました。

### ■ 『BrandZ™ TOP100 Ranking (ブランジー・トップ 100 ランキング)』について

このブランド価値ランキングは、WPPグループが年1回発表しているもので、今年で8回目になります。ブランド価値の算出およびランキングは、ミルウォード・ブラウン・オプティモア社が実施しています。

ここでいうブランドとは、主に個々の製品・サービスブランドの集合体を指しています。例えば、コカ・コーラは、飲料のコカ・コーラを意味します。

ブランド価値の算出は、各企業の公開財務情報やミルウォード・ブラウン・グループが年一回実施しているブランドに関する消費者調査(『BrandZ™ (ブランジー)』)の結果などを用いて行われます。

『BrandZ™ TOP100 Ranking (ブランジー・トップ 100 ランキング)』(英語)は、WPP 及びミルウォード・ブラウン・グループのウェブサイトで公開しています。

- WPP のウェブサイト: <http://www.wpp.com/wpp/>
- ミルウォード・ブラウン・グループのウェブサイト:  
[http://www.millwardbrown.com/BrandZ/Top\\_100\\_Global\\_Brands.aspx](http://www.millwardbrown.com/BrandZ/Top_100_Global_Brands.aspx)

## News Release

---

### ■ WPP について

WPP(ダブリューピーピー)グループは、2012年の売上高が100億ポンド(日本円で約1兆4,000億円。1ポンド140円で計算)を超えるグローバル企業であり、広告業やパブリック・リレーション(PR)業などのマーケティングに関連するサービスを提供しています。

WPPの調査・コンサルティング事業部門の総称がカンター・グループであり、カンター・ジャパンおよびミルウォード・ブラウン・グループ(ミルウォード・ブラウン・オプティモア社を含む)はそこに属しています。

- 社名:ダブリューピーピー(WPP PLC)
- 本社:イギリス・ロンドン
- 代表:マーティン・ソレル
- 事業内容:広告・メディア投資、調査・コンサルティング、PR、ブランディングなど
- 上場市場:ロンドン証券取引所、ナスダック

### ■ ミルウォード・ブラウン・グループについて

ミルウォード・ブラウン・グループ(本社:イギリス・ロンドン)は、ブランド領域や広告などのコミュニケーション領域における調査・コンサルティングに強みを持つ企業です。その中で、ブランドの価値評価やそれに基づくコンサルティングを中心に行っているのが、ミルウォード・ブラウン・オプティモア社です。

### ■ カンター・ジャパン会社概要

カンター・ジャパンは、前身企業から数えると日本で50年超の歴史を持つ市場調査会社です。13の企業(グループ)で構成されるカンター・グループに属し、日本だけでなく海外の消費者調査まで幅広く手掛けています。

- 社名:株式会社カンター・ジャパン
- 本社:東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー6F、7F
- 取締役社長:大竹秀彦
- 事業内容:市場調査、およびそれに付随するアドバイザー業務
- ウェブサイト:<http://www.kantar.jp>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社カンター・ジャパン 広報 東園 E-mail:[Marketing@kantar.co.jp](mailto:Marketing@kantar.co.jp) Tel:03-6859-3229